

- 問1 弥生時代、稲作の普及によって余剰生産物が生まれると、富を蓄えた有力者が現れ、各地に小規模な政治集団である「国」が形成されました。当時の倭（日本）の有力な王は、中国の王朝から自らの地位を正式に認められることで、周辺諸国に対する権威を高めようとしてしました。西暦57年に、倭の「奴国」の王が中国の後漢の皇帝から授かった、その地位を証明するための品物として正しいものを選びなさい。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-----------|-------------------|------------------|
| 1. 仏像や経典 | 2. 三角縁神獣鏡 | 3. 「漢委奴国王」と刻まれた金印 | 4. 稻荷山古墳から出土した鉄剣 |
|----------|-----------|-------------------|------------------|
- 問2 弥生時代における「青銅器」と「鉄器」の使われ方の違いについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 鉄器も青銅器も、ともに稲作を効率化するための農具としてのみ、実用的に普及した。 | 2. 青銅器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、鉄器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。 | 3. 鉄器は縄文時代から日本列島で独自に作られていたが、青銅器は弥生時代になって初めて大陸から伝わった。 | 4. 鉄器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、青銅器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。 |
|--|--|--|--|
- 問3 弥生時代に大陸から伝えられた金属器のうち、銅鐸や銅剣などの青銅器は、主にどのような目的で使用されていたと考えられますか。（2019年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 都の東西に置かれた市で、布や米と交換される通貨として用いられた | 2. 食物を煮炊きしたり、貯蔵したりするための生活容器として用いられた | 3. 土地を耕したり木を加工したりする実用的な工具として用いられた | 4. 集団の祭祀や祭りの道具として用いられた |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------|
- 問4 弥生時代、土を耕すための農具や敵と戦うための武器には、青銅ではなく主に「鉄」が材料として選ばれました。このように鉄器が実用品として普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 鉄は青銅に比べて硬度が高く耐久性に優れていたため、衝撃の加わる作業や戦闘に適していたから。 | 2. 青銅は非常に重く持ち運びが困難だったため、軽量の鉄が実用的な道具として好まれたから。 | 3. 鉄は青銅よりも融点が低く、当時の未熟な技術でも簡単に大量生産することができたから。 | 4. 鉄は日本列島で独自に発見された金属であり、大陸から輸入する必要があった青銅よりも安価だったから。 |
|--|---|--|---|
- 問5 1世紀半ばの日本（倭）において、九州にあった奴国の王が中国の王朝に使者を送り、皇帝から金印を授けられたという記録が中国の歴史書に残されています。このとき、奴国の王に金印を授けた中国の王朝として正しいものを次の中から選びなさい。（2026年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 漢 | 2. 隋 | 3. 魏 | 4. 秦 |
|------|------|------|------|
- 問6 奈良県などの古墳から出土する銅鏡などの考古資料は、当時の中国の王朝から邪馬台国の女王へ贈られたものである可能性が検討されています。中国の歴史書には、卑弥呼が「親魏倭王」の称号とともに百枚の銅鏡を授かったという記述がありますが、このとき外交関係を結んでいた中国の王朝名を答えなさい。（2021年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 唐 | 2. 隋 | 3. 秦 | 4. 魏 |
|------|------|------|------|
- 問7 中国の歴史書には、紀元前1世紀頃から1世紀頃にかけての倭（日本）の様子が記されています。これらの記述についてまとめた次の説明のうち、最も適切なものはどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 『漢書』地理志には、奴国の王が後漢の光武帝から金印を授かり、中国との交流を深めたことが記されている。 | 2. 『後漢書』東夷伝には、卑弥呼が30余りの国に従え、魏の皇帝から「親魏倭王」の称号を授かったことが記されている。 | 3. 『魏志』倭人伝には、倭の王が初めて中国の皇帝に朝貢し、大陸の進んだ青銅器文化を日本へ持ち帰ったことが記されている。 | 4. 『漢書』地理志には、倭人が100余りの国に分かれて生活し、定期的に朝鮮半島の楽浪郡へ使節を送っていたことが記されている。 |
|---|--|--|---|
- 問8 大陸から伝わった稲作が日本各地に広まったことは、当時の社会のあり方に大きな変化をもたらしました。収穫物の貯蔵という観点から、稲作の普及が社会に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 収穫した稲を加工するために、鉄器よりも先に漢字が伝来し、役所による管理体制が全国で確立した。 | 2. 収穫物を平等に分配する仕組みが完成したため、ムラ同士の争いは完全になくなり平和な社会が実現した。 | 3. 食料を保存する必要がなくなったため、人々は定住をやめて獲物を追いかける移動生活へと戻った。 | 4. 収穫したコメを富として蓄えることが可能になったため、蓄えの多寡による貧富の差や身分の違いが生まれた。 |
|---|---|--|---|
- 問9 日本列島と朝鮮半島の位置関係を示した地図において、九州地方の北部（現在の佐賀県付近）に位置し、大陸との交流や当時の防御の様子を今に伝える弥生時代の代表的な遺跡はどれか、選びなさい。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|---------|-----------|
| 1. 岩宿遺跡 | 2. 三内丸山遺跡 | 3. 登呂遺跡 | 4. 吉野ヶ里遺跡 |
|---------|-----------|---------|-----------|
- 問10 弥生時代の社会や文化について述べた次の文のうち、近畿地方を中心に分布する青銅器である「銅鐸」の特徴や背景を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2020年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 実用的な武器として使われたのち、次第に祭祀用へと変化したもので、九州地方北部で多く出土する。 | 2. 死者を埋葬する際に副葬品として納められた装飾品で、魔除けなどの意味を持っていた。 | 3. 古墳の墳丘に並べられた焼き物であり、葬られた王の権威を示したり聖域を区切ったりする役割があった。 | 4. 稲作の豊作を願う祭りの道具として使われ、表面には当時の人々の生活の様子が描かれることもあった。 |
|---|---|---|--|
- 問11 3世紀の中国の歴史書において、邪馬台国の女王卑弥呼が30ほどの小国に従え、倭の王として交流したことが記されている当時の中国の王朝名を答えなさい。（2023年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 漢 | 2. 魏 | 3. 隋 | 4. 秦 |
|------|------|------|------|
- 問12 弥生文化を形成した「弥生人」の成り立ちや、その文化の特徴について説明したものとして正しいものはどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 大陸からの渡来人と在来の人々が混ざり合うことで形成され、稲作を基礎とした定住社会を発展させた。 | 2. 武士が政治の実権を握り、幕府という組織を通じて全国の守護や地頭を統制する封建的な社会を構築した。 | 3. 遣隋使や遣唐使を通じて大陸の律令制度を積極的に学び、天皇を中心とした中央集権的な法治国家を築いた。 | 4. 縄文土器を使用し、弓矢を用いた狩猟や貝塚に見られる採集を中心とした、身分差のない平等な社会を維持した。 |
|--|---|--|--|